

## 大会次第

- |            |          |        |
|------------|----------|--------|
| 1. 入場      |          |        |
| 2. 開会通告    | 進行委員長    | 村上 廣 敏 |
| 大会総合指揮     | 進行副委員長   | 大西 浩 司 |
| 3. 出場人員報告  | 実行副委員長   | 三好 喜久男 |
| 4. 開会のことば  | 副大会長     | 青野 光 男 |
| 5. 国旗掲揚    | 女性消防団員   |        |
| 6. 優勝旗返還   | 自動車ポンプの部 | 久米 分 団 |
|            | 小型ポンプの部  | 浅海 分 団 |
| 7. あいさつ    | 大会長      | 寺坂 末 吉 |
|            | 松山市長     | 野志 克 仁 |
| 8. 祝辞      | 松山市議会議長  | 寺井 克 之 |
| 9. 選手宣誓    | 味酒分団 班長  | 武智 誠   |
| 10. 競技上の注意 | 実行委員長    | 宮野 直 次 |
| 11. 退場     |          |        |
| 12. 操法     |          |        |
| 13. 審査結果発表 | 審査委員長    | 松本 健 三 |
| 14. 表彰     | 松山市長     | 野志 克 仁 |
| 15. 講評     | 副大会長     | 井戸 善 昭 |
| 16. 国旗降納   | 女性消防団員   |        |
| 17. 万歳三唱   | 進行副委員長   | 石橋 秀 通 |
| 18. 閉会のことば | 実行副委員長   | 森山 惠   |

## 第30回松山市消防団消防操法大会実施要綱

1. 目的 消防を取り巻く環境の著しい変化に対応するため、迅速かつ的確な消防技術の修得により、消防団員の士気と消防精神の高揚を図り、もって市民生活の安全に資することを目的とする。

### 2. 主催及び実施機関

- (1) 主催 松山市
- (2) 実施機関 松山市消防団

3. 開催日時 平成25年7月28日(日)9:30～  
雨天決行、荒天の場合は8月11日(日)9:30～ ※5:00 決定

4. 開催場所 松山市勝岡町1163 愛媛県消防学校大規模訓練場

5. 参加人員	大会役員	55名
	審査員	31名
	選手(補欠含む)	130名
	来賓(事務局含む)	43名
	その他消防団員	1,209名
	合計	1,468名

### 6. 操法種目

- (1) ポンプ車操法(手びろめによる2線延長操法)
- (2) 小型ポンプ操法(手びろめによる1線延長操法)

## 7. 競技要領

「第30回松山市消防団消防操法大会消防操法実施要領」による。

## 8. 大会出場分団数

	ポンプ車	出場順位	小型ポンプ	出場順位
第1方面隊	潮見	9	久枝	14
第2方面隊	高浜	10	興居島	6
第3方面隊	味生	3	垣生	3
第4方面隊	味酒	2	清水	8
第5方面隊	素鷲	6	桑原	10
	城東	1		
第6方面隊	坂本	5	荏原	2
	久米	8	浮穴	5
第7方面隊	道後	7	道後	1
第8方面隊	河野	4	正岡	7
			難波	13
			北条	4
			河野	9
第9方面隊			中島西（宇和間）	12
			睦野（睦月）	11
合計（台）	10		14	

## 9. 出場選手の資格

- (1) 指揮者は、班長以上の職にあるものとする。
- (2) 自動車ポンプの部の4番員は、運転免許取得者とする。

## 10. 使用機械器具

### (1) ポンプ、車両及び機材

使用するポンプ、車両及び機材は、原則として持ち込みとする。

### (2) ホース

使用圧力 1.3MPa (13kg/cm<sup>2</sup>) 以上、内径 65 ミリメートル、長さ 20 メートル (金属部分を除く布部分の長さ) 以上のものとする。

### (3) 筒 先

23 型以下の可変式ノズル、プレイパイプの長さは 60 センチメートル以上のものとする。

### (4) とび口

長さ 1.5 メートル以上のものとする。

## 11. 出場隊の服装

(1) 活動服 (競技中第 1 ボタンはしなくてよい)、ヘルメット、手袋を着用する。

(2) 運動靴または地下足袋を着用する。

(3) (1)、(2) について出場隊ごとに斉一を期すること。

(4) 当日配布されたゼッケンを着用すること。

## 12. 審 査

別に定める「第 30 回松山市消防操法大会消防操法審査要綱」による。

## 13. 表 彰

(1) ポンプ車操法及び小型ポンプ操法のそれぞれ第 1 位から第 3 位までを入賞とする。

(2) 第 1 位のチームには、賞状、トロフィー、優勝旗を授与する。ただし、

優勝旗は持ち回りとし、次回大会には返還するものとする。

- (3) 第2位及び第3位のチームには、賞状及びトロフィーを授与する。
- (4) ポンプ車操法及び小型ポンプ操法の部の各番員の最高得点者には、優秀選手賞として、賞状及び記念章を授与する。

#### 14. 開会式及び閉会式

- (1) 開会式及び閉会式時の整列順序は、審査員を最右翼にポンプ車操法前回優勝チーム、小型ポンプ操法前回優勝チーム、方面隊ごとの出場分団とする。
- (2) 出場選手以外の消防団員は、団員控え所（テント）の前に整列する。